

あざみ野で初開催!感動の12日間

— あざみ野 —

星野富弘 花の詩画展

2025年10月15日[水]～26日[日]

開場時間 | 午前10時～午後6時 (26日は午後3時終了・入館は閉館の30分前まで)

入場料 | 600円 中学生以下無料・障がい者手帳をお持ちの方とその介護の方1名様無料

at

アートフォーラムあざみ野
横浜市民ギャラリーあざみ野〈展示室2〉



同時展示



樹脂粘土 野の花・野草アート

秋の野の花©Tomihiko Hoshino

主催 |
あざみ野
星野富弘花の詩画展を開く会

後援 | 横浜市教育委員会／公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／工藤建設(株)／
ルームズ大正堂あざみ野店／(株)スリーハイ／学校法人 岩崎学園

特別協力 | 富弘美術館

協力 | (株)偕成社／(株)Gakken／いのちのことは社／グロリア・アーツ(株)／富弘美術館を囲む会東京・
三田支部、東京・神奈川支部、軽井沢支部／(一社)樹脂粘土野の花・野草アート協会

ごあいさつ

花の詩画家・星野富弘氏は、不慮の事故にあいながらも口に筆をくわえ、身近に生きる野の花に、飾らない言葉をそえた詩画作品を生涯で500点以上描きました。

星野氏は2024年4月に逝去されましたが、残された詩画作品は変わることなく私たちの心に寄り添い「いのちの輝き・尊さ」を語り続けてくれます。

この度、横浜市市民ギャラリーあざみ野にて星野富弘花の詩画展を開催いたします。詩画作品を多くの地域の方々にご覧いただき、皆さまと感動を共有することにより、共に支え合う、やさしい社会作りの一助となれればと願っております。また、子供たちには何度でも会場に足を運べるよう、中学生以下は入場無料としています。星野さんの作品とその生き方知ってもらうことで、生きる勇気やいのちの尊さについて考えるきっかけとなり、豊かな心を育む機会となりますようお願いしています。

あざみ野星野富弘花の詩画展 主催者

イベントのお知らせ

●オープニングイベント

●ギャラリートーク

10/15(水)
午前10時30分～

富弘美術館学芸員によるギャラリートークを開催いたします。星野さんが描く詩画世界を解説し、ギャラリートークでしか聞くことのできないエピソードなども紹介します！(予約不要、直接会場にお越しください)

あざみ野での初開催を記念して、
先着で素敵なチケットケースを
100名様にプレゼント！

種類はお選びいただけません。

朗読で感動を！

●朗読グループ「婉(えん)」による朗読会(約45分)

10/18(土)、25(土)
午後1時30分～

地元で活躍する朗読グループ「婉(えん)」による星野富弘さんのエッセイの朗読会を開催いたします(予約不要)。



ものづくり体験アート！

●樹脂粘土野の花・野草アート協会によるワークショップ

10/19(日)

- ① 午前11時30分～
 - ② 午後2時～
- 各限定8名様
(約1時間)

星野さんが描いた緻密な草花の世界を樹脂粘土で体験してみませんか。本物そっくりの「ツクシとスギナ」を作り、作品はお持ち帰りいただけます。樹脂粘土アート野の花・野草アート協会講師が丁寧に楽しくワークショップを開催します。

材料費：2,500円
(当日会場にてお支払いください)



事前予約TEL 03-6825-6830

(平日午前10時～午後5時) 締切：10/16(木)まで

ミュージアムショップのご案内

絵はがき、書籍、カレンダー、グッズ…etc.



ぜひお立ち寄りください。

星野 富弘プロフィール

- 1946年 群馬県に生まれる。
- 1970年 体育の教諭になるが、クラブ活動の指導中頸髄損傷、手足の自由を失う。
- 1972年 口に筆をくわえて詩や絵を書き始める。
- 1981年～ 雑誌や新聞に詩画作品やエッセイの連載を開始。
- 1982年 高崎で「花の詩画展」開催。以後、全国各地で「花の詩画展」を開催。
- 1991年 群馬県勢多郡東村(現みどり市)に村立富弘美術館開館。
- 1994年～ ニューヨーク・ハワイ・サンフランシスコ・ワルシャワなど海外でも「花の詩画展」を開催。
- 2005年 (新) 富弘美術館開館。
- 2021年 富弘美術館開館30周年。
富弘美術館の入館者数が700万人を超える。
- 2024年 逝去。
みどり市名誉市民(第一号)の称号を贈られる。

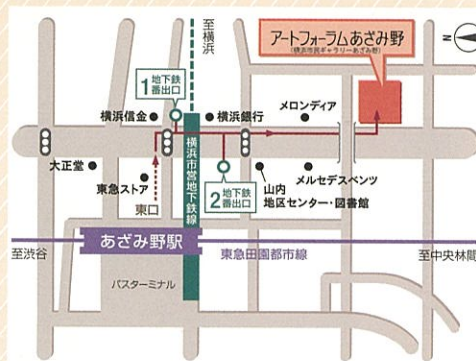
詩画や随筆は教科書にも掲載され、全国で「花の詩画展」を開催している。著書多数。



主な著書

- 「新装版 愛、深き淵より。」「新編 風の旅」「風の詩」
- 「詩画とともに生きる」(Gakken)
- 「鈴の鳴る道」「かぎりなくやさしい花々」「速さのちがう時計」
- 「あなたの手のひら」「花よりも小さく」「種蒔きもせず」
- 「足で歩いた頃のこと」「ただ一つのものをもって」「ひと枝の花に似て」(偕成社)
- 「山の向こうの美術館」(富弘美術館・偕成社)
- 「銀色のあしあと」「たった一度の人生だから」「ことばの雫」
- 「いのちより大切なもの」「あの時から空がかわった」(いのちのことば社)

会場のご案内



アートフォーラムあざみ野内 横浜市民ギャラリーあざみ野

〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3

東急田園都市線「あざみ野駅」東口 徒歩5分

横浜市営地下鉄「あざみ野駅」1・2番出口 徒歩5分

〈お車で越しの方〉

アートフォーラムあざみ野の来館者用駐車場(23台 有料)がごさいます。

会場ウェブサイト ▶ <https://artazamino.jp/>

